

# 管内貿易概況（徳山、光、防府、平生）

## 平成２２年分（速報値）

平成２３年２月４日  
徳山税関支署

輸出は３年ぶりのプラス  
輸入は２年ぶりのプラス

### １．総額

輸出	１０，２９５億２０百万円	（＋１８．５％）
輸入	６，２２３億６２百万円	（＋２１．４％）
輸出入差引額	４，０７１億５８百万円	の出超

（増減比は前年比、以下同じ。）

### ２．輸出

輸出総額は、１０，２９５億２０百万円、伸び率＋１８．５％、金額にして１，６０７億０１百万円の増加で３年ぶりのプラスとなった。これは金属製品、セメントなどが不振であったものの、自動車、自動車の部分品などが好調だったことが主な要因となっている。

品目別動向では、北米、欧州等向けの自動車が１，０４３億８５百万円の増加、中国、タイ等向けの自動車の部分品が１７０億０９百万円の増加、中国、アメリカ等向けの合成ゴムが１４３億８６百万円の増加、中国、韓国等向けの鉄鋼が１２８億２９百万円の増加、中国、韓国等向けの有機化合物が９０億９６百万円の増加となった。

一方、韓国、マレーシア等向けの金属製品が９億６０百万円の減少、香港、シンガポール等向けのセメントが８億７６百万円の減少となった。

《増加品目》自動車	５，３２５億５３百万円	（１，０４３億８５百万円増、＋２４．４％）
自動車の部分品	６８０億７７百万円	（１７０億０９百万円増、＋３３．３％）
合成ゴム	３８６億０５百万円	（１４３億８６百万円増、＋５９．４％）
鉄鋼	７５２億２９百万円	（１２８億２９百万円増、＋２０．６％）
有機化合物	１，４６３億４９百万円	（９０億９６百万円増、＋６．６％）

《減少品目》金属製品	１２億０５百万円	（９億６０百万円減、－４４．４％）
セメント	２５億８５百万円	（８億７６百万円減、－２５．３％）

### ３．輸入

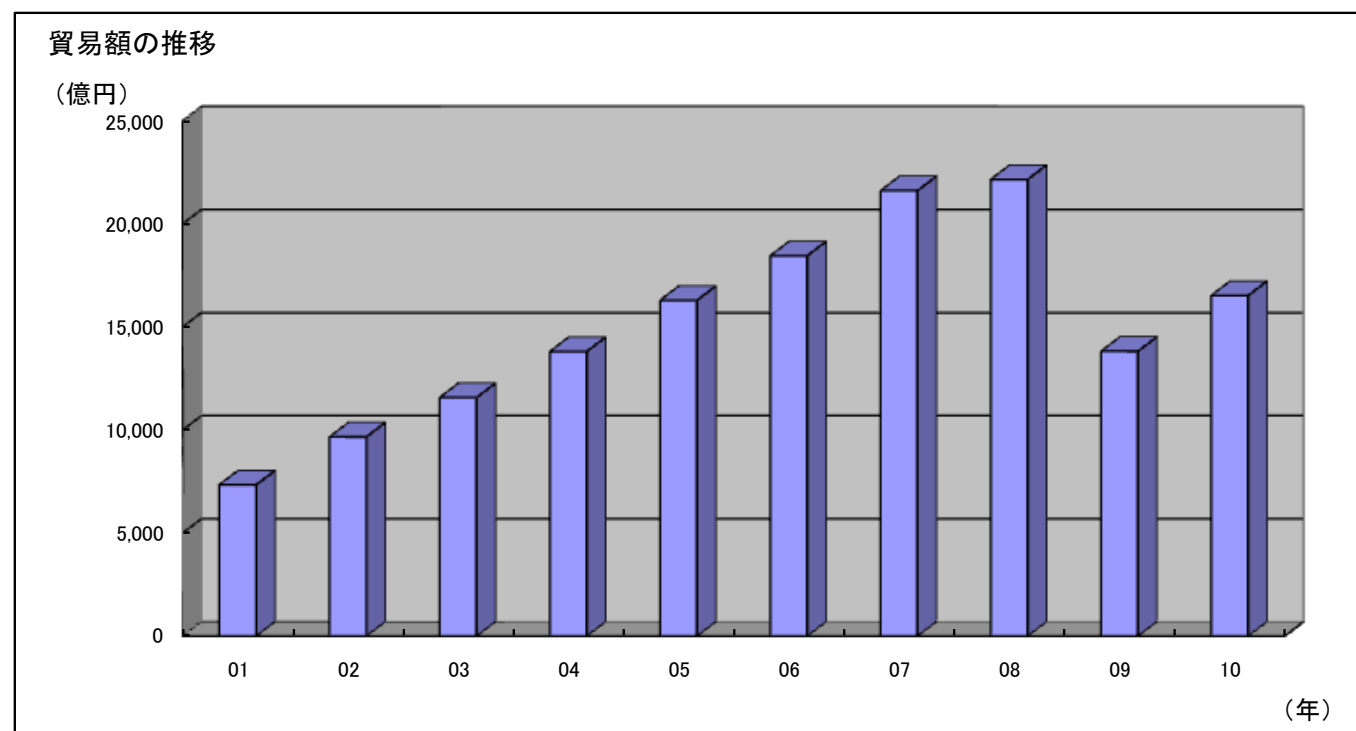
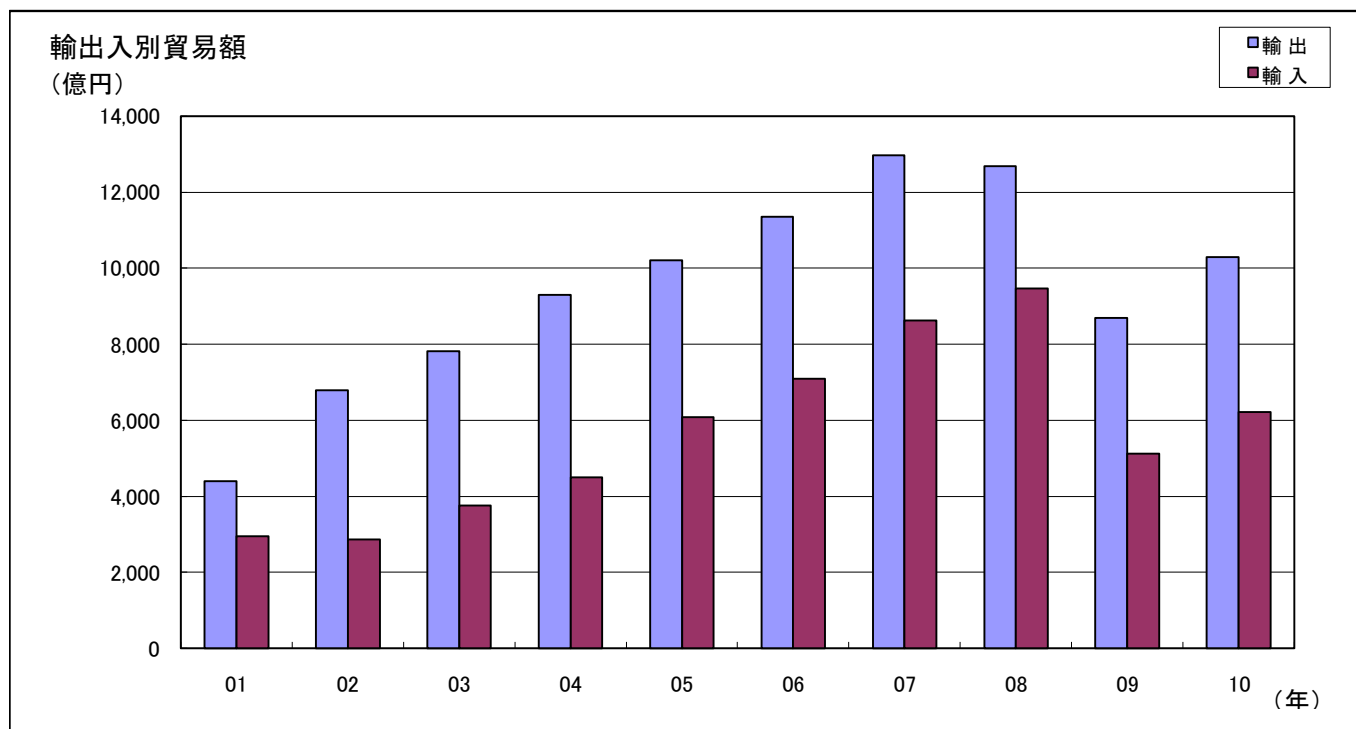
輸入総額は、６，２２３億６２百万円、伸び率＋２１．４％、金額にして１，０９８億６１百万円の増加で２年ぶりのプラスとなった。これは輸入品の約７割を占める鉱物性燃料の石油製品、原油及び粗油などが増加したことが主な要因となっている。

品目別動向では、韓国、サウジアラビア等からの石油製品が４１０億６４百万円の増加、カタール、アラブ首長国連邦等からの原油及び粗油が２３５億９４百万円の増加、南アフリカ、ニューカレドニア等からの鉄鋼が１６５億２３百万円の増加、オーストラリア、インドネシア等からの石炭が６１億６０百万円の増加、韓国、アメリカ等からの鉄鋼くずが５５億９２百万円の増加となった。

《増加品目》石油製品	１，２４９億６１百万円	（４１０億６４百万円増、＋４８．９％）
原油及び粗油	２，３３０億３５百万円	（２３５億９４百万円増、＋１１．３％）
鉄鋼	４５８億７７百万円	（１６５億２３百万円増、＋５６．３％）
石炭	６８１億５７百万円	（６１億６０百万円増、＋９．９％）
鉄鋼くず	１３３億８０百万円	（５５億９２百万円増、＋７１．８％）

注．この内容を引用されるときは、徳山税関支署発表による旨附記してください。

## 年別 徳山税関支署管内貿易額推移グラフ



(億円)										
年	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
輸出	4,391	6,789	7,824	9,303	10,203	11,358	12,980	12,689	8,688	10,295
輸入	2,945	2,871	3,749	4,504	6,085	7,089	8,625	9,463	5,125	6,224
合計	7,336	9,661	11,572	13,806	16,288	18,448	21,605	22,151	13,813	16,519